

研究の全体構造

研究主題

対話的な学びのある授業の創造

～教科を貫き互いに学びあう授業を通して～

めざす子ども像

1	2	3
見聞きしたことを自分の言葉で表現できる子	話し合い活動を通して、互いの考えや思いを感じあい学び合える子	見聞きしたことと自分の思い、他者の考えを比較して考えることができる子

研究の仮説

1	2
課題解決学習を重視し、互いの立場や考え方を伝え合う場を効果的に取り入れた学習過程を工夫することにより、望ましい思考力・判断力・表現力を身につけた子どもに育つだろう。	学習や活動の過程において、考えや思いを共感的に理解し支援することにより、達成感や充実感を深め、自信をもって学ぶ子が育つだろう。

研究の視点・内容

1	2
自己表現力を高め、様々な考えにふれ、学び合う指導の工夫	児童の思考を促し、学び合いの方法を身につけられる指導の工夫
<input type="checkbox"/> 国語科で身につける「伝え合う」力の基礎基本を身につけるための工夫	<input type="checkbox"/> 全体学習での学び合いを充実させる手立ての工夫
<input type="checkbox"/> 自分の考えを発表するグループ学習の工夫	<input type="checkbox"/> 相手の考えを認め、自分の考えを深めることのできる学習環境の工夫

【平成30年度の重点内容】

国語科を通して「伝え合う」力を高めるための方策

各教科における適切な言語活動

特別支援教育のよさ・生徒指導の機能を生かした支持的風土に満ちた

地球岬小の学級経営